



子どもにサーフィンを教える **荒河 貴仁さん**  
サーファーみんなで子育てできる豊橋の海



# 自然と育つ



地元木材を使った **角谷 知彦さん**  
木工作家  
見て、触れて、体感する！ 木育で子どもの感性を育てる



クラストコ

育つ  
03

## 子どもにサーフィンを教える 荒河 貴仁さん(38歳)

サーファーみんなで子育てできる豊橋の海



伊織くん(8歳)

正宗くん(11歳)

### Profile

大学生の頃から始めたサーフィン子どもに教える2児の父。休日には表浜海岸へ行くことが習慣になっている。



### Question

子どもにサーフィンを勧めたきっかけは？

### Answer

真剣に打ち込めるものがほしかったから。

子どもには何か一生懸命になれるものを持ってほしいと思っていました。一つでも貫き通したものと、社会で強く生きていけると思い、長男が小学2年の時、アクアリーナ豊橋で行われた“サーフィン体験会”に子どもと一緒に参加しました。その帰りに子どもが「真剣にやりたい。」と言い出し、ボードを買ったことがきっかけで、今では、世の中のお父さんが公園へ連れて行く感覚で、子どもと一緒に海へ行っています。

### Question

豊橋でサーフィンする魅力って？

### Answer

結束力が強く、アットホームな雰囲気が魅力！

いろんな年齢の方が、気軽に話し掛けてくれるのが豊橋の良いところ。豊橋ではキッズサーファーが少ない分、みんなの目に留まり、見守ってくれます。“地元色”が濃く、結束力が強いアットホームな雰囲気です。



お世話になっているサーフショップのみんなとパチリ

Question

## 子育てで大切にしていることは？

Answer

自分に厳しくすること、  
礼に始まり、礼に終わること。

サーフィンは、対人間ではなく個々の努力によるところが大きいので、いかに自分に厳しくできるかが大切なところ。だからこそ、親が限界値を決めず、子どもに目標を決めさせています。また、サーフィンは世界的に「チャライ」イメージがあると思いますが、「礼に始まり、礼に終わる」ということを大事に、サーフィンの前後には海への一礼も欠かしません。



## 海パパ友と子育てを愉しむ



真木 健一さん(35歳)

真木  
大河くん  
(11歳)

一番仲の良いのは  
大河です！



荒河さんが海で出会った“パパ友”の真木さん。サーフィンを通じた子育て交流や、パパ同士の悩みなどを伺いました。

**荒河さん** 真木さんと初めて会ったのは、子どもが小学3年の頃。海で子どもに話し掛けてくれたのがきっかけでした。

**真木さん** その後、子ども同士が同級生だったので、自然と一緒にサーフィンをするようになりましたね。

**荒河さん** 一番好きなサーフィンを通して友達ができたのは、子どもたちにとってもうれしいようです。

**真木さん** 荒河さんとは、父親としてサーフィンをどう指導していくかという真剣な話もできます。父親がサーフィンをしている分、ついつい子どもに口を出し過ぎることもあります。どうやって我慢するかなどの悩みも一緒ですね。

**荒河さん** 真木さんは良き理解者で、子ども同士はライバルでもあり、仲の良い友達です。切磋琢磨しながら成長を見届け、また、サーフィンの裾野が広がるように次世代に繋げていきたいですね。



# 荒河さんファミリーの1日

子どもたちとサーフィンを楽しむ荒河さんの休日に密着しました。

6:00

## 起床

ボードを積み込み、海へ行く準備をする。妻の恵美さんがサーフィンを見に行くことも多く、昼食用のおにぎりを握って海へ出掛ける。



7:00

## 午前のサーフィン開始

自宅から車で約20分の場所にある小島海岸でサーフィン。海に入る前に、ボードに滑り止めのワックスを塗るなど、準備は入念に。



12:00

## 休憩

サーフィンを楽しんだ後は休憩タイム。真木さんと一緒にお昼を食べたり、子どもたちは砂遊びや鬼ごっこをしたりすることも。伊織くんはシーグラス集めに夢中!



15:00

## 午後のサーフィン開始

波に揉まれて角が取れ  
曇りガラスのような  
シーグラス



17:00

## 帰宅

たっぷりサーフィンをした後も宿題は怠らない。宿題を見るのは荒河さんの役目。



荒河さん親子が  
サーフィン始めるきっかけになりました

## ここにこサーフィン体験会



昨年6月にアクアリーナ豊橋で開催した「ここにこ体験プログラム プロサーファーになろう プールでサーフィンをはじめよう!」。プロサーファーの萩原健太さんを講師に迎え、5歳児~小学生の約80人がパドルングをしたり、ボードの上に立ったりしました。参加した子どもたちは、「楽しい!」「サーファーみたい!」と大喜び!

問い合わせ

こども未来館「ここにこ」 TEL.0532-21-5525

荒河さん親子も  
毎月第3日曜日に参加しています

## ビーチクリーン



表浜海岸の環境美化のため、毎月第3日曜日に開催されるビーチクリーン。毎回、サーファーなどが大勢参加し、海岸のごみ拾いを行っています。3月には東日本大震災を追悼する「追悼ビーチクリーン」も開催しました。



海が近い!!

荒河さんにとって、豊橋で  
子育てする魅力は?

「海が近いので休日はもちろん、平日でも仕事が休みの時は子どもと海へ行くことができます。そんな時は、豊橋に住んでいて良かったなど実感します。」

クラストコ

育つ

04

地元木材を使った  
木工作家

角谷 知彦さん(43歳)

見て、触れて、体感する！木育で子どもの感性を育てる



Profile

三重県鈴鹿市生まれ。10年前から、木の家具や小物を作る木工作家として活動。妻、9か月の長男と3人で暮らす。

Data

TanuCraft タヌクラフト

<http://tanucraft.net>

Question

木工作家になった理由は？

Answer

もの作りが好きで、木製品を通して木の良さを伝えたいと思ったから。

大学で林業を学んだ後、林業に関わるソフトウェア開発の仕事に就いていましたが、自分の作る木製品を通じて、多くの方に木のことや森のことを知ってもらいたいと思うようになりました。30歳の頃に飛騨高山の専門学校で木製家具の製作を学んだ後、独立しました。家具の製作に限らず、木製の生活雑貨や、おもちゃの製作にも意欲的に取り組んでいます。



角谷さんが一つひとつ丁寧に作った木のおもちゃ

Question

作品作りで心掛けている点は？

Answer

世代を超えて、長く大切に使うもらえるものを作ることです。

いつまでも傍らに置いてもらえるデザインを心掛けています。おもちゃであれば、「楽しい」「安全」はもちろん、大人になってもインテリアとして飾ってもらえるようなデザインに近づけています。私の作ったおもちゃで遊んだ子が、将来、また私に声を掛けてくれたらうれしいです。

□に入れても安心な塗料を使っているよ！



Question

木のおもちゃの魅力は？

Answer

素材が持つ自然の肌触りと、シンプルで長く使えること。

木はなめても安全なのはもちろん、壊れてしまった時の修理なども簡単で長く使えます。木の種類によって感触や色、重さが異なるのも面白いところ。さらに香りも楽しめるので、さまざまな感覚を使って遊べるのも魅力です。幼い長男が遊ぶようすから、木のおもちゃの魅力が再発見する良い機会をもらっています。



# 角谷さんの1日

6:00 起床&子どもの離乳食作り

9:00 仕事開始

自宅併設の工房で木材の加工、組み立て、塗装などの作業が続く。



コロんとした見た目が  
かわいらしい犬のおもちゃ。  
耳や尻尾も動かせる!



こんなもの  
作っているよ



持ち運びに便利な袋付きの  
「どうぶつ積み木」。

18:00 仕事終了&子どもの世話

仕事が終わると、オムツ替えをしたり、一緒にお風呂に入ったりと、子どものお世話をします。



周車だや〜♪

リビングに設置した  
ベビーサークルも  
角谷さんの手作り。



妻とメニューを  
考えながら作ります。



## ファミリー紹介 角谷さんファミリー



現在、妻は育児休暇中ですが、それが終わると夫婦共働きの生活がスタートします。結婚当初から、家事は分担していたので、子育ても同じように、離乳食を作ったり、寝かしつけをしたりと、お互いができることをするようにしています。そうやって、家族と過ごす時間や、子どもと触れ合う機会を少しでも多く取れるように心掛けています。



角谷さん手作りの  
木のおもちゃが  
もらえる!

## チャイルド サポートプラン事業

7か月児の保護者を対象に、子育て支援サービスを紹介する説明会を行っています。詳細は、生後5か月頃に送付する乳児健康診査受診票に同封しています。



問い合わせ

子ども未来館「ここにこ」 TEL.0532-21-5525

角谷さんにとって、豊橋で  
子育てする魅力は?

充実した  
支援センター

「豊橋には、地域の方と知り合える子育て支援センターがたくさんあります。校区に密着しているのでも、地域ぐるみの子育てができて安心です。」

